



春の火災予防運動

4月1日(金)～7日(木)

統一標語 「火は消した? いつも心に きいてみて」

○林野火災に注意!

これからの季節、空気が乾燥し強風の日も多くなることから、毎年3月から5月にかけて林野火災が急増しています。火の取り扱いには十分注意してください。



○住宅防火

いのちを守る7つのポイント

3つの習慣

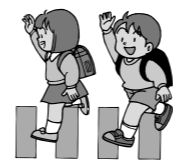
- 寝タバコは絶対やめる
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために住宅用消火器などを設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

火災・救急・救助は
局番なしの119

佐渡市消防本部 ☎52-3941



小さな手 大きく上げて 渡ろうよ

春の全国交通安全運動 4月6日(水)～15日(金)

①子どもと高齢者の交通事故防止

- 新入学・新入園シーズンを迎えます。大人が手本となって、新たに通学・通園する子どもたちに交通マナーの指導をしましょう。
- 夕方から夜間にかけて、歩行中の高齢者の交通事故が増えています。夜間外出するときは、明るい服装で出かけましょう。

②二輪車の安全利用の推進

- 雪解けとともにツーリングに出かけるのが待ち遠しくなる季節です。ヘルメットはもちろん、プロテクターの着用を心がけましょう。

③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- シートベルトはあなたを守る命綱です。万一の事故に備え、車に乗ったら全員がシートベルトを締めましょう。
- チャイルドシートは子どもの指定席です。体格にあったチャイルドシートを取り付け、大切な子どもを交通事故の被害から守りましょう。

④安全速度の励行

- 速度があがれば、それに伴う危険も多くなります。規制速度を守り、ゆとりのある運転を心がけましょう。

CNSテレビ番組内容の一部変更について (月曜日のみ)

毎週月曜日の放送内容を次の通り変更いたします。

※★印は、市からのお知らせ、島内の風景、特別番組などを放送します。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

現在の放送	再放送	変更後の放送
6:30 CNS番組 (ニュース・行政情報等) (再放送)	6:30~	4/4(月)以降 ★ 農林水産気象情報
10:00 CNS番組 (ニュース・行政情報等) (再放送)	10:00~	4/4(月)以降 ★
12:30 CNS番組 (ニュース・行政情報等) (再放送)	12:30~	4/4(月)以降 交流21 畜産eye
15:00 CNS番組 (ニュース・行政情報等) (再放送)	15:00~	4/4(月)以降 アグリスペシャル



佐渡金銀山 未来に残そう世界遺産

金銀山よもやまばなし(6)

大間港倉庫(1)

相川の大間港には、明治20年(1887)製錬所との間に複線架空索道が架設され、明治25年(1892)に完工しています。以降昭和後年に二見港に移行されるまで、鉱石の積出しと資材の荷揚げに使用されました。建築物としては現在レンガ造りの倉庫が3棟残されています。

大間港の入り口東側に残る倉庫は、レンガ造り二階建て切妻屋根で、外壁はイギリス式の化粧レンガ積みを表し、屋根は椀瓦葺きとなっています。小屋組みは木造キングポストトラス組みで、トラスの合掌に母屋および垂木を掛け、野地板を張ってあります。南側正面出入口と北側一階窓上部には照明器具の配線跡と虎の痕跡が見られます。また、西側一階壁面には母屋が取り付いていた痕跡が確認されます。

内部は二階床高さに梁受け石が設置され、切断された木造の梁が確認



▲現在の大間港倉庫(1)

されます。この梁の上に二階の木造柱が建ちトラスを支えています。現在にはこれら痕跡とは異なる位置に、木造の床組みが設置されています。外壁部はレンガ壁に亀裂が入っている部分や破損してへこんでいる部分を確認されます。梁間外法6.11m、桁行外法9.65m、南を正面として立地しています。地表面に見せる基礎は切石積み一段で、この上にレンガ躯体を構成しています。基礎には部分的に開口を設けて床下換気口となっています。外壁の妻面はペディメント(切妻屋根の妻

上下面が平らなアーチレンガが構造)を使用することを考慮すると、明治時代後期から大正時代までに建築されたものと考えることができます。部材を見る限り、内部の改造は著しいですが、外観は当初の形態をよく残していると考えら



▶倉庫(1)の内部

れます。近代化の波によって、鉱山内の他地区では鉄骨造りや鉄筋コンクリート造りの構造物が目立ち、近年では既に解体されたものも多いため、レンガ造りの建物が残存していることは貴重であり、大間港の構造物と一連で残していきたい建造物です。

佐渡金銀山室 ☎74-3115